

ディズニー映画『ズートピア』から学ぶ多様性の理解 —無意識の偏見に焦点をあてたスティグマ軽減教育の試み—

中塚 志麻

抄録

本稿では、幼稚園教諭・保育士養成課程の授業において、ディズニー映画『ズートピア』を教材に、無意識の偏見に焦点をあて、多様性の理解を目指した授業を試みた。『ズートピア』の感想では、映画の登場人物の行動や気持ちを通して、無意識の偏見を意識化し、相互理解の重要性等多様性理解のための前向きな意見が記されていた。感想の内容をテキスト化し、テキストマイニングを実施し分析した結果、総抽出語数は7274語であった。また、抽出語では、偏見、差別、見る、社会、障害、共生等の言葉が多く抽出された。共起ネットワークでは、「友情」「共生社会の実現」「差別と偏見」「多様性の尊重」という4つテグロリーが抽出され、多様性の理解を促進するキーワードが見出された。本稿は大学生を対象とした授業紹介であるが、『ズートピア』は小中学生を対象としても「多様性の理解」の教材として有効と思われる。

キーワード：多様性、スティグマ、無意識の偏見、

1. はじめに

今日の社会において、「多様性」の尊重とその対応が課題となっている。このような「多様性」という考えは、特にSDGsやESG投資（環境・社会・ガバナンス投資）や企業の行動原理等に取り上げられ、企業や組織の中でも重要視されている¹⁾。日本の教育現場も同様であり、「多様性」という言葉が頻繁に使用される機会が多くなってきている。しかしながら、本来「多様性」と「教育」は不協和音を呈する関係ともされており²⁾、特に「和」を尊ぶ日本の教育では、「同じ」であることが強く求められ、「違い」のある者は分離し排除していこうとする傾向がある³⁾。実際に特別支援教育においてインクルーシブ教育が推進されているにも関わらず、特別支援学校・特別支援学級に在籍する児童生徒数が急増し、不登校の子ども達も増加傾向にある。このような状況は、日本の教育現場において、目に見えない同調圧力のように「同じ」「一緒に」であることが強く求められ、その枠組みに属しない者を異質と捉え、分離しようとする傾向が根強く残っているのではないだろうか。

多様性の阻害要因として近年、無意識の偏見が注目されている⁴⁾。無意識の偏見とは、誰もがもっている潜在的な偏見であり、無意識の中で脳に刻まれた固定概念のことをいう。Google社においては、社内で多様化が進まないのは、無意識の偏見が理由の一つであるとし、積極的に無意識の偏見に関する社員教育を行っている⁵⁾。

多様性を尊重する教育とは、子ども達はみな「違い」がある多様で唯一の存在であり、それ

を互いに尊重し認め合いながら関わることで人間形成することである³⁾。本稿では、「多様性の尊重」がキーワードとなる大学における「障害児保育」の授業の中で、ディズニー映画『ズートピア』を教材にして無意識の偏見に焦点を当てた多様性の理解とスティグマ軽減教育の内容を紹介する。

2. 方法

1) 授業実践の位置づけ

本授業は、本学の幼稚園教諭・保育士養成課程の科目「障害児教育」（履修学生 27 名）の 1 単元である。

使用教材：

「Briefing note on addressing mental health and psychosocial aspects of COVID-19 Outbreak-Version 1.5」(WHO・IASC)⁷⁾

「Covid-19 に関する社会的スティグマの防止と対応のガイド」(国際赤十字連盟・UNICEF・WHO)⁸⁾

「ハンセン病を正しく理解するために」(岡山県政府広報チャンネル)⁹⁾

『ズートピア』(監督リッチ・ムーア ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオ 2016 年製作)¹⁰⁾

2) 本授業で用いる実践方法

エンターテインメント-エデュケーション：社会変化を起こす方法の 1 つにエンターテインメント-エデュケーション（以下 EE）がある。EE は、エンターテインメントと教育の融合で、物語の力を通して社会的な課題にアプローチする有用な手法であり、主にヘルスコミュニケーションの領域で、実践されている方法論である¹¹⁾。現在の新型コロナウイルス感染症パンデミック下においても、EE を活用しパンデミック対応のヘルスコミュニケーション戦略の実践が報告されている¹²⁾。また、統合失調症のスティグマ軽減プログラムや、差別やスティグマに焦点をあてた EE の報告¹³⁾ もあり、EE は差別やスティグマの軽減や多様性の理解に役立つ戦略として示唆されている。

本単元では、ディズニー映画『ズートピア』を EE 教材として使用した。『ズートピア』は、2016 年、ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオ製作による長編アニメーション映画である。肉食動物と草食動物が共に暮らす大都会ズートピアを舞台に、ウサギの警察官ジュディとキツネの詐欺師ニックがカワウソ失踪事件に立ち向かうパディムービーである。本作は、国内外レビューの多くに多様性・差別・偏見等がキーワードとして記されている。実際に Google scholar を使用して「zootopia」で検索すると検索欄に「racism」「stereotype」「prejudice」等の言葉が頻出する。以上のことから映画『ズートピア』は、多様性・差別・偏見等がキーワードとなる親しみやすいディズニーアニメであることから、

理解しやすい内容と考え、教材として採用した。

ユニット授業：本授業は、ユニット授業の形態で実施した。ユニット授業は、公立小学校教員の杉淵¹⁴⁾が開発・実践した指導法で5～15分単位で区切った学習活動を組み合わせていく授業の構成法である。本授業においても、① Google Forms で個別記入・全体でフィードバック ②一斉学習での講義 ③動画視聴 ④各自で課題を実施等ユニットに分け、授業をデザインした。

3) 実践の内容

本稿で紹介する実践内容を以下の表1・表2にまとめた。

表1 授業内容

事前課題	「共生社会の実現」を観点としてズートピアを視聴し、感想をメモする(200字～)
ユニット1	ズートピアに関するアンケート キツネ・ウサギについて自分がもっているイメージを Google Forms で回答。(10分)
ユニット2	無意識の偏見に関する講義。ユニット1の回答をフィードバックし、無意識の偏見に関する講義を実施(15分)
ユニット3	ステレオタイプ・差別・偏見・スティグマ等に関する講義(10分) ※仔細は表2に記載
ユニット4	『ズートピア』の中で、また、実際の生活の中でのステレオタイプ・差別・偏見に関する個別課題実施とフィードバック(20分)
ユニット5	ハンセン病に関する動画視聴 使用動画「ハンセン病を正しく理解するために」(16分)
ユニット6	ハンセン病に関する補足と COVID-19 に関するスティグマの防止と対応に関する一斉学習(10分)
ユニット7	ズートピアの感想と多様性の理解についての課題(9分)

表2 ユニット3 無意識の偏見に関する内容

ステレオタイプ	あるカテゴリーの人はどういった「イメージ」があるか 例 ウサギはかわいくてひ弱だ。
偏見	ネガティブな他者へのイメージに対する拒否的・嫌悪的・敵意的感情 例 ウサギの警察官って頼りなくていやだなあ。
差別	偏見に基づいた行動 例 ウサギのジュディに重要な仕事をさせない。

4) 分析方法

テキストマイニング：授業内容のユニット7(表1)における「ズートピアの感想」の内容をテキスト化し、テキストマイニングを実施する。テキストマイニングとは、コンピューターを用いて自由記述やインタビューテキスト等の質的なデータを計量的に分析する手法である。テキストマイニングは近年、医療・教育・福祉の分野で多く活用され¹⁵⁾、信頼性と客観性が保たれやすいとされている¹⁶⁾。テキストマイニング用の解析ソフトは複数開発されているが、本研究では、樋口によって開発された KHcorder¹⁷⁾を使用した。KHcorder はフリーソフトウェアで公開されているが、形態素解析機能、コーディングルー

ル記述機能等を備え、信頼性・妥当性も確認されているところから^{18) 19) 20)}、テキストマイニングの分析ソフトとして採用した。

3. 倫理的配慮

授業開始時に、授業内容を本学紀要に投稿し、発表すること、発表内容は教育と研究以外に使用しないこと等倫理的遵守に関して口頭と文書で説明した。また、当該大学関係者に対しても同様の確認を行った。

4. 結果

1) 『ズートピア』に関するアンケート：動物に対するイメージ（回答者 19 名）

ユニット 1 において、学生が google Forms で回答した結果を以下に示す。

「ウサギに対して小さくてかわいいイメージがありますか？」という質問に対し「とてもある」「まあまあある」と回答した者は 94.7%（18 人）であった。その理由として、

- ・実際に見ていて小さいし可愛いから
- ・見たままのイメージ・絵本で見た時に可愛いイメージがある。

等があげられた。(図 1-2)

次に「キツネに対してずるがしこいイメージがありますか？」という質問に対し「とてもある」「まあまあある」と回答した者は 31.6%（6 名）であった。その理由として、

- ・キツネはずる賢く計算高いという話を色んな話で聞いたことがあるから

等が記されていた。対して「あまりない」「まったくない」と回答した者は、68.4%（13 人）であった。その理由として、

- ・考えたこともない、
- ・そういうイメージがない、

等が記されていた。(図 1-3)

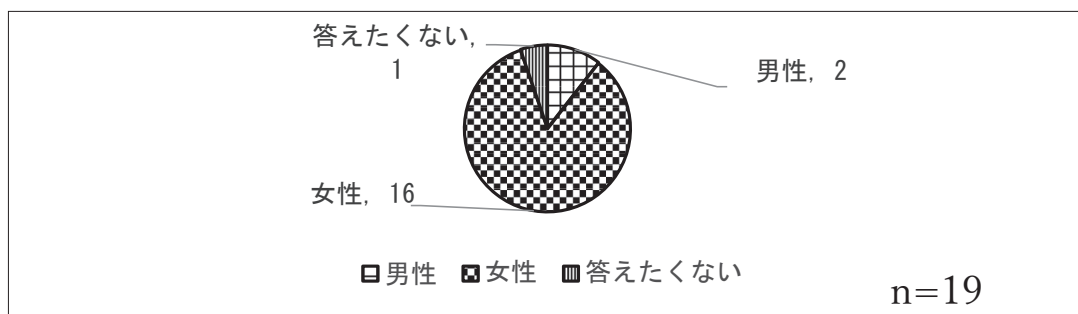


図 1-1 対象者の性別

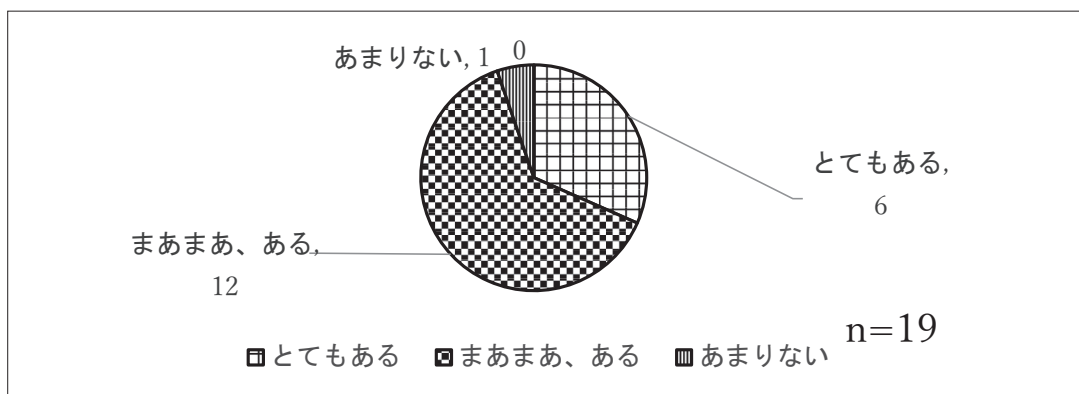


図1-2 ウサギに対して小さくてかわいいイメージがありますか？

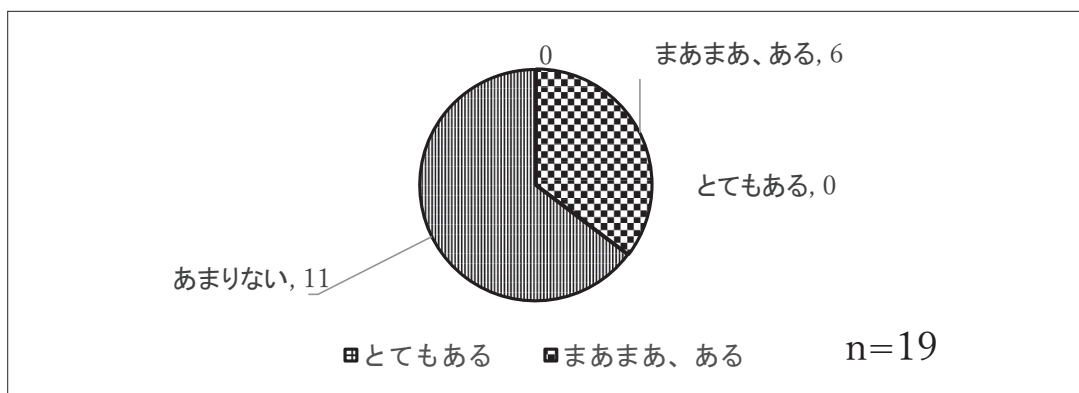


図1-3 キツネに対してずるがしこいイメージはありますか？

2) 『ズートピア』の感想

学生が提出した感想の抜粋は以下の通りである。

「無意識に持っている偏見や差別を取り除くことは難しいが相手を尊重しようとする気持ちは皆が持てると思う。」

「ズートピアで印象に残っている言葉は『一番怖いのは、理由もなく怖がること』と『あなたがどんな動物だろうが関係ない。より良い世界を目指して、心を覗けば変化はあなたの中で始まる。』だった。」

「一人ひとりが意識して自分の周りにどれだけのバリアがあるか考え、具体的に行動をしていくことで共生しやすい社会を実現できるのではと考える。」

「私たちは「障害」という言葉の固定概念が強く、そのために偏見で障害がある人を見ている人が多い。まずは障害に対する固定概念だけで人を見ず、障害があるなしに関わらず、お互いを知るところから始め、障害理解を深め、小さなことでも手助けしていいという関

係性を築いていけるといいと考える。」

「心のバリアは目に見えないため、教育がやはり重要だし、環境のバリアフリーを実現するには、国や店舗、イベントの主催側が積極的に動く必要があります。」

「共生社会を実現するために注意する点としては、人は知らないものに対して嫌悪感を抱いたり、単なる噂を真実だと思い込むことがあると思います。そういった悪循環を無くすためにも、学校などで過去に差別されていたものや人を詳しく学習する時間をとったり、真実を伝えることで、偏見を少しでもなくすることができるのではないかと考えました。」

3) テキストマイニング

本稿では、さらに感想の内容をテキストマイニングで分析した。分析方法として、KH Coder 6 を用いて頻出語彙を抽出し、共起ネットワーク分析を行った。

頻出語検出の結果:KH Coder での分析結果では、総抽出語数は7274語（使用は2849語）、異なり語数は、1105語（使用は872語）であった。また、抽出語では、偏見59、差別56、人51、見る46、社会43、障害25、共生23の頻度が確認された。（表3）

共起ネットワーク：共起ネットワークとは、出現パターンの似通った語（共起関係が強い語）を線で結び、ネットワーク図を描き、頻出語の出現パターンの類似性や語同士の結びつきを可視化する分析である。描かれたネットワーク図では、それぞれの語の共起の程度が強いほど線が太くなり、出現数の多い語は大きな円で示される。共起ネットワークの分析では、比較的強い結びつきのある語同士を自動的に検出しグループ化するサブグラフ検出という機能がある。この機能を使用した結果、4つのカテゴリーが検出され、「友情」「共生社会の実現」「差別と偏見」「多様性の尊重」と命名した（図2）。

表3 頻出語（出現回数順）※一部

抽出語	頻度	品詞	抽出語	頻度	品詞
偏見	59	名詞	実現	18	サ変名詞
差別	56	サ変名詞	共生社会	17	名詞(複合語)
人	51	名詞	映画	15	名詞
見る	46	動詞	認める	14	動詞
社会	43	名詞	理解	13	サ変名詞
障害	25	名詞	子ども	11	名詞
共生	23	サ変名詞	大切	11	形容動詞

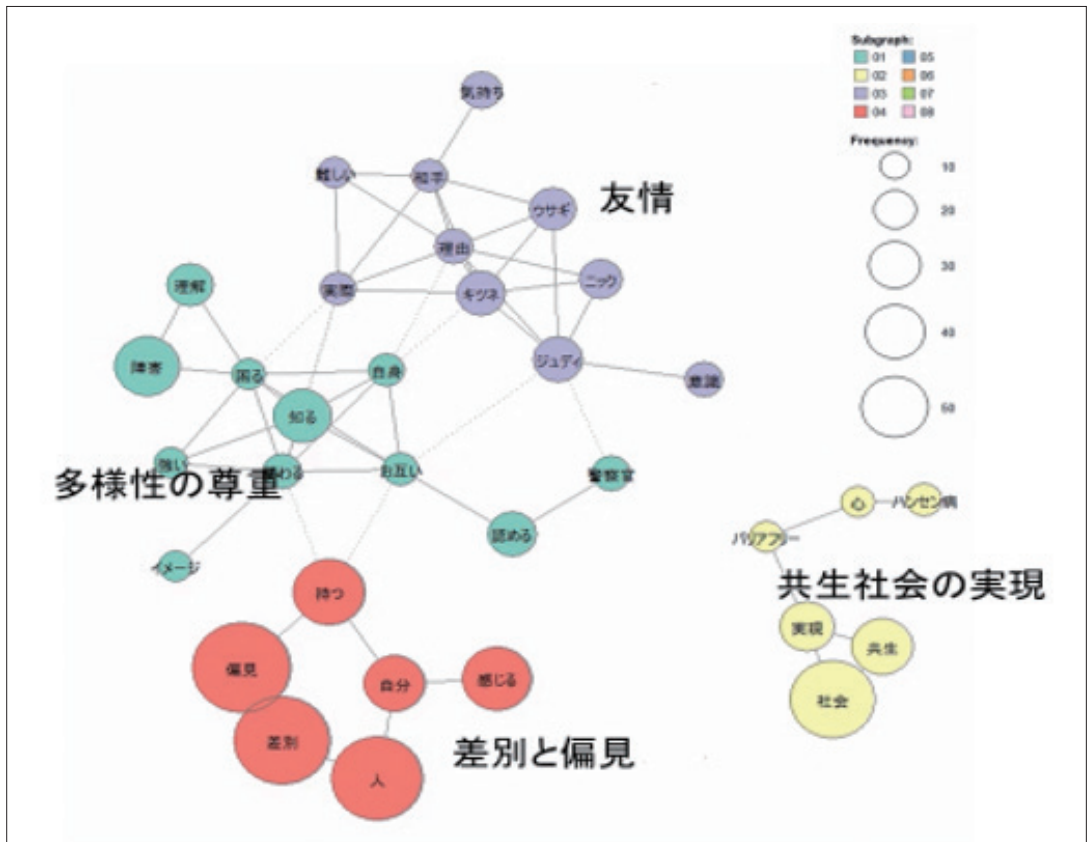


図2 4つのカテゴリーが検出された共起ネットワーク

5. 考察

本稿では、映画『ズートピア』を教材として使用し、「障害児保育」の授業において、無意識の偏見に焦点をあて、多様性の理解を目指した授業を試みた。

1) 『ズートピア』に関するアンケート：動物に対するイメージ

「ウサギ」に対して、多くの学生が「小さくてかわいい」というイメージをもっていた。その理由として、見た目や絵本で描かれているキャラクターのイメージ等が挙げられている。このような「ウサギはかわいい」というイメージは、『ズートピア』本編の中でも多く描かれている。主人公のウサギジュディの両親は、「ウサギの警察官はいない」と話し、「小さくてかわいいウサギは警察官になれない」という偏った思考でジュディを説得している。警察学校のシーンでは、他の動物よりも体が小さいジュディは、訓練で苦戦している様子が描かれている。また、ジュディがズートピアの警察署に初めて出勤した際に、受付担当のチーターに「君、思っていたよりずっとカワイイな」と声をかけられ、戸惑っているシーンがある。「ウサギは小さくてかわいい」というイメージは、ズートピアが描く動物社会

の中では「小さくてかわいいウサギは、重大な仕事をまかせられない」という差別につながっていく。

また、「キツネはずるがしこい」というイメージに対して、約7割の学生が「あまりない」「全くない」という回答をした。きつねは、古来より特別な霊力をもつ動物として、世界各国の民話や伝説に多く登場している²¹⁾。日本においては、「日本霊異記」や「今昔物語」の中で人に化けて登場したり、稲荷明神の使者として信仰されたりしていることから、キツネはずる賢いというイメージが定着した可能性が伺える。ズートピアの中でもキツネのニックは詐欺師のような仕事をしており、ジュディの両親は「キツネを信用してはいけない」等の言葉を発している。このように一般的には「きつねはずるがしこい」というイメージがあるが、本稿での学生はあまりそのようなイメージをもちあわせていなかった。これは、若い世代が遭遇するキツネのキャラクターが、児童文学のかいけつゾロリやゲームキャラクターのスターフォックス、ポケットモンスターのロコン、キュウコン等、かつての「ずるがしこい」イメージを払拭するキャラクターが描かれているからと思われる。『ズートピア』の中ではきつねはずるかしくて、信用できない」という無意識の偏見は、ジュディを通して見事に描かれている。ジュディは当初両親のキツネに対する偏見にうんざりとした表情をみせるが、キツネのニックを見かけたとき、両親から護身用としてもらったキツネ除けスプレーに手をかける。無意識の偏見とは、ジュディのように「自分は偏見をもっていない」と思う人であっても、育ってきた環境や文化の中で、無意識の中で脳に刻み込まれ、固定概念となっていくものである。

2) 『ズートピア』の感想・テキストマイニング

映画『ズートピア』のメッセージとは、「差別や偏見はよくないという単純なものではなく、誰でも差別や偏見につながる価値観を持っている。それに気づき、意識的に考えていくこと」とされている²²⁾。私たちは、そのような気づきを通して、意識的に共生社会とは何か、どのようにすれば実現できるのかと考えていくことが重要である。

本稿では、『ズートピア』視聴の際、「共生社会の実現」をキーワードにして見るようにと学生に指示をした。感想においては、映画の登場人物の行動や気持ちを通して、無意識の偏見を意識化し、相互理解の重要性等多様性理解のための前向きな意見が記されていた。『ズートピア』は、もとよりエンターテインメント性の高い映画であるが、このように観点をヒントとして提示することにより、学生達は『ズートピア』のメッセージをダイレクトに受けとめることができたと考える。また、『ズートピア』視聴の際テキストマイニングにおいても、「多様性の尊重」「共生社会の実現」等のカテゴリーが抽出され、学生の多様性理解が促進されたと考察した。

6. 実践の成果と今後の課題

ユニット形式の学習形態では、緩急のある授業を展開することで学生の集中力が持続し、私語もなく多くの学生が真剣に授業に参加することができた。特に、Google Forms で個別課題を使用することで、即時フィードバックと他学生の意見を閲覧することができ、よりいっそう理解を深めることができたのではないかとと思われる。また、学生の感想の中では、他者を尊重する、一人ひとりが無意識の偏見を意識する等多様性の理解を深めるための重要な語彙が記載されており、テキストマイニングの結果も含めて本稿の目的である「多様性の理解」、理解が促進されたと考察した。しかし、スティグマ軽減に関しては、当該授業の履修者が27名であり、量的な研究による効果測定を実施することができなかつた。今後は、「多様性の理解」が重要とされる「特別支援教育」「障害児心理」等の授業においても、同様の授業を展開し、効果測定を実施する予定である。

今日の学校現場では、外国人児童生徒への対応、障害のある児童生徒への対応、能力差への対応、児童生徒の体質（アレルギー等）への対応、家庭の問題への対応、既存の学校教育になじめない児童生徒（不登校等）への対応等、多様性の対応も非常に多岐にわたっている。23) 今後も多様性の教育が重要となる中で、すでにメディア教材として使用されている映画『ズートピア』は、小中学生を対象とした「多様性理解」の教材としても有効と思われる。

引用文献、参考文献

- 1) 羽生祥子 (2022) SDGs、ESG 経営に必須！多様性って何ですか？D&I、ジェンダー平等入門 多様性ってなんですか？. 日経 BP.
- 2) 寺尾智史等 (2020) Vavrus 著『多様性と教育』をどう読むか - 多様性理解・多様性教育の国際比較に向けて -. 宮崎大学教育学部紀要 (94) 170-177.
- 3) 田上哲 (2022) 教育現場における多様性・ダイバーシティ. 教育と医学 P194 -195
- 4) 金城克哉 (2022) 大学における LGBT に対する無意識のバイアスとダイバーシティ. 琉球大学欧米文化論集 (66) 1-21,
- 5) <https://youtu.be/nLjFTHtEVU> 2014年9月26日
- 6) AC・WHO (2020) <https://pscentre.org/?resource=iasc-briefing-note-on-addressing-metal-health-and-psychosocial-aspects-of-covid-19-outbreak-version-1-0&selected=single-resource>
- 7) 国際赤十字連盟・UNICEF・WHO (2020) https://extranet.who.int/kobe_centre/sites/default/files/pdf/20200224_JA_Stigma_IFRC_UNICEF_WHO.pdf 「ハンセン病を正しく理解するために」
- 8) 岡山県政府広報チャンネル
- 9) ウォルト・ディズニー・ピクチャーズ ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオ (2016) 監督リッチ・ムーア

- 10) 河村洋子 (2011) エンターテインメント・エデュケーション—社会変化のためのコミュニケーション戦略. 熊本大学政創研叢書
- 11) Amy Henderson Riley, Angeline Sangalang, Elizabeth Critchlow et al (2021) Entertainment-Education Campaigns and COVID-19: How Three Global Organizations Adapted the Health Communication Strategy for Pandemic Response and Takeaways for the Future. Health Commun. Jan;36 (1) :42-49.
- 12) U. Ritterfeld, S. Jin (2006) Addressing media stigma for people experiencing mental illness using an entertainment-education strategy. J Health Psychol. 2006 Mar;11 (2) :247-67.
- 13) Jenny Y N Chan I, Winnie W S Mak, Lawrence S C Law (2009) Combining education and video-based contact to reduce stigma of mental illness: “The Same or Not the Same” anti-stigma program for secondary schools in Hong Kong Soc Sci Med. 68 (8) :1521-6
- 14) 杉渕鐵良 (2014) 全員参加の全力教室—やる気を引き出すユニット授業. ユニット授業研究会
- 15) いたうたけひこ (2013). テキストマイニングの看護研究 における活用. 看護研究 2013 ; 46 : 475-484
- 16) 岩佐由美, 藤井千枝子 (2017) テキストマイニングで見た難病に対する関心とニーズ医療情報学37(3) 135-145.
- 17) 樋口耕一 (2014) KH Coder <http://kncoder.net/> 2023年2月6日
- 18) 加藤千佳, 城丸瑞恵 (2010) データベースを用いた看護専門領域別実習に関する研究動向の分析. 看護教育 138-141.
- 19) 後藤佐昌子, 八軒浩子, 高田充隆 (2011). 医療薬学研究 の変遷に関する計量的分析. 医療薬学 37. 21-30.
- 20) 八軒浩子, 松岡有紗, 村井亜衣 (2012) 医療薬学研究の テキストマイニングによる計量的分析「医療薬学」と「日本病院薬剤師会雑誌」の比較. 医薬品情報学 13 : 152-159.
- 21) 劉克華 (2005) 民話の狐と人間. 愛知工業大学研究報告. 礎教育センター論文集 (40A) , 75-78,
- 22) 山田あすか, 小篠隆生, 菅原修孝 (2022) 共生社会の基盤となるキャンパス・コミュニティ. 北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言制定記念講演会 第2回記念講演 : 大学とユニバーサルキャンパスデザイン.
- 23) 手嶋將博 (2019) 共生社会における『多様性』を教育の場でいかに保障するか—教育における『多様性』の保障とその対応の国際比較—教育制度・施策の視点から—
文教大学教育研究所紀要 (28) 7 - 15

(注) 映画自体を指す時は『ズートピア』、都市として指す時はズートピアと記載する。